

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
二葉ファッションアカデミー		昭和51年12月15日		小川 万紀子		〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-3-2 (電話) 0422-44-3161																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人 古屋学園		昭和38年3月8日		手嶋 達也		〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-3-2 (電話) 0422-44-3161																																									
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																										
服飾・家政	服飾専門課程	ファッション総合学科		平成25年文部科学省 告示第二号																																											
学科の目的	企業・団体等との連携を通じ、社会ニーズに則した実践的且つ専門的技術スキルを持ったグローバルファッション人材の育成。																																														
認定年月日	平成 26年 3月 31日																																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
	2170時間		630時間	630時間	1750時間	0時間	0時間																																								
2年	昼間						単位時間																																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																										
200人	23人	0人	4人	5人	9人																																										
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席状況、試験及び課題作品評価による。																																										
長期休み	■学年始: 4月 1日~4月 5日 ■夏季: 7月22日~8月29日 ■冬季: 12月18日~1月 6日 ■学年末: 3月12日~3月31日			卒業・進級 条件	規定授業日数の3分の2以上の出席が必要。試験及び提出課題の作品評価をもとに、卒業・進級判定会議にて審議、校長が卒業・進級を認めた者。																																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 2者面談及び3者面談を定期的実施。			課外活動	■課外活動の種類 各イベントごとに実行委員会を形成。エキシビション実行委員会、体育祭実行委員、二葉祭(学園祭)実行委員、卒業作品展実行委員会、東京コレクション実行委員会等。 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和2年3月31日時点の情報)																																										
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) アパレルメーカー、OEM企業、縫製工場、スタイリストアシスタント (株)ファイブフォックス、(株)パル、(株)ストライブインターナショナル			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターンメーキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>パターンメーキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定2級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定2級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ファッション色彩能力検定3級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>洋裁技術認定 中級</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>洋裁技術認定 初級</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	パターンメーキング技術検定2級	③	4人	1人	パターンメーキング技術検定3級	③	2人	2人	ファッション販売能力検定2級	③	5人	2人	ファッション販売能力検定3級	③	6人	6人	ファッションビジネス能力検定2級	③	6人	6人	ファッションビジネス能力検定3級	③	6人	6人	ファッション色彩能力検定3級	③	6人	6人	洋裁技術認定 中級	③	2人	2人	洋裁技術認定 初級	③	3人	3人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																																										
パターンメーキング技術検定2級	③	4人	1人																																												
パターンメーキング技術検定3級	③	2人	2人																																												
ファッション販売能力検定2級	③	5人	2人																																												
ファッション販売能力検定3級	③	6人	6人																																												
ファッションビジネス能力検定2級	③	6人	6人																																												
ファッションビジネス能力検定3級	③	6人	6人																																												
ファッション色彩能力検定3級	③	6人	6人																																												
洋裁技術認定 中級	③	2人	2人																																												
洋裁技術認定 初級	③	3人	3人																																												
■就職指導内容 入学年度の7月より、毎月1回就職ガイダンス又はカウンセリングを実施。定期的にも上級生による就職活動報告会を実施することで、早期から職業意識と業界研究をすることで、希望職種内定に導きます。			<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 例年各種デザインコンテストにチャレンジしていたが、コロナ禍により多くのコンテストが開催中止となった。</p>																																												
■卒業者数 14 人			■卒業者に占める就職者の割合 79 %																																												
■就職希望者数 11 人																																															
■就職者数 11 人																																															
■就職率 : 100 %																																															
■卒業生に占める就職者の割合 : 79 %																																															
■その他 ・ファッション専攻科進学者数: 2人 ・大学編入者 0人 ・見習い 0人 ・進路未定者数 1人																																															
(令和 2 年度卒業者に関する 令和2年3月31日 時点の情報)																																															
中途退学の 現状	■中途退学者 5 名		■中退率 17 %																																												
令和2年4月 1日時点において、在学者 29名(令和2年4月 1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者 24名(令和3年3月31日卒業者を含む)																																															
■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学校生活への不適合及び経済的理由による為。																																															
■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 担任制をとるとともに、個別面談の回数を増やした。学校満足度アンケート(毎月実施)結果を指導に活用。																																															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入																																														
■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																															

第三者による 学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 有</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) 文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画、平成27年度に有識者・業界関係者で構成された第三者評価を受審、適正な学校運営が行われていると認定された。 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/05/24/1371256_2-2.pdf</p>
当該学科の ホームページ URL	<p>http://furuya.ac.jp/fashion/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- 常に最新のファッション業界動向・方向性等に関する情報取得に努め、その情報を共有する。
- 互いの共通理解や信頼関係を深め、実践的且つ専門的な職業教育を行う。
- 企業・団体等との連携において実施した内容について、必ずその成果の検証を行う。
- 連携先の企業・団体以外にも積極的なヒアリングを行い、教育課程編成委員会等において活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

ファッションに関する実践的且つ専門的な職業教育を実施する為に、積極的な企業・団体等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、委員会と教務課が連携して教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等)を行っている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
樋口 明久	地方独立行政法人 東京都産業技術研究センター 所長	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	②
中山 史郎	中山メリヤス(株) 代表取締役	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	③
山口 琢磨	八王子ファッション協議会会長・(有)オカド染色工業 代表取締役	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	①
小川万紀子	二葉ファッションアカデミー 校長	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	
大野 龍男	二葉ファッションアカデミー 副校長	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	
粕谷 徳之	二葉ファッションアカデミー 教務主任	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- 学会や学術機関等の有識者
- 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回の開催(毎年7月、1月)を基本とし、必要に応じて追加開催をしている。

(開催日時)

第1回 令和3年7月26日(月) 13:00～14:00 (オンライン開催)

第2回 令和4年1月26日(水) 13:00～14:00 ※予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会での意見としてあった「サステナビリティがキーワード」を反映させ、(株)オンワード樫山と連携した実習授業を展開。持続可能な開発目標に基づき、リサイクル衣料をピックアップ、これをもとに新たな雑貨をリメイクして展示販売、学生が店頭ディスプレイや販売実習も行う。又、「今後はWEBショップが重要」という意見に対し、食品なども含めたライフスタイルショップをYahooショップに開設した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針




- 企業等と連携することにより、実践的且つ専門的な授業を学生に提供する。
- 連携しての講義、実習、演習においては、学生の安全を第一に考える。
- 授業内容については形骸化しないよう、それが職業実践的なものであるかを常に確認する。
- 企業団体、学校、生徒が互いの共通理解や信頼関係を深めながら、実践的且つ専門的な職業教育を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- 抗菌加工の技術習得と、加工した素材を使用した商品の企画から製作、販売までを一気通貫で行う。
- 上記の学修成果について学生の成績判定を連携先企業とともに5段階評価にて行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な3科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
商品企画 I	持続可能な開発目標に基づき、オリジナリティーのあるファッション雑貨の提案製作・販売を行う。将来携わるファッション業界の問題点についても考察しながら、顧客ニーズに則した商品提案を行う。	(株)オンワード樫山 リユースパーク
商品企画 III	持続可能な開発目標に基づき、オリジナリティーのあるファッション雑貨の提案製作・販売を行う。将来携わるファッション業界の問題点についても考察しながら、顧客ニーズに則した商品提案を行う。	(株)オンワード樫山 リユースパーク

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

1. 教員は本校教員研修規定により、専攻分野に関する実務研修又は指導力研修に毎年参加することが定められて
2. 担当教員は、日頃より業界及び企業・団体等との共通理解や信頼関係を深めることを義務とする。
3. 担当教員は積極的に業界団体等が実施する研修会等に年間を通じ積極的に参加し、業界の現状把握に努める。
4. 担当教員は研修等で得た知識・技能について、他の教員との情報共有を図り、授業などを通して生徒にフィードバックをする。
5. 担当教員は研修等で得た知識・技能について、教員研修発表会の場で発表するものとする。

(2) 研修等の実績(令和2年度)

①専攻分野における実務に関する研修等 ※令和1年度実績、令和2年度はコロナ禍により未実施

1. ファッションビジネス研修 (株)ユージン・スタジオ 令和元年8月19日～8月21日(3日間)
※ファッションとアートという切り口での価値創造を学ぶことで、商品企画Ⅲの授業に繋げる。
2. ファッション技術研修 (株)SOMPOケア 令和元年8月7日～8月9日(3日間)
※老人施設での研修を通じ、高齢者が抱える衣服に関する諸問題をリサーチし、パターン製作の応用に繋げた。
3. ファッション技術研修 (株)旭化成ベンベルグ延岡工場 令和元年8月27日～8月28日(2日間)
※衣服素材であるベンベルグの知識を習得し、その素材の活用方法を学びファッション造形の授業に活かす。
4. ファッションビジネス研修 (株)アダストリア 令和元年8月22日～8月24日(3日間)
※ベイフロア吉祥寺店にて、店舗オペレーション・VMDを学ぶ。授業の中でのロールプレイングに反映させる。

②指導力の修得・向上のための研修等 ※令和2年度実績

1. 中堅教員研修 (公財)東京都私学財団 令和2年8月24日～8月26日(3日間)
※専修学校のキャリアデザインワークショップ
2. 第3回人権教育研修会 (公財)東京都私学財団 令和2年11月5日
※発達障害に対する理解と援助
3. 感染症拡大防止に向けたWEB講習会 (公社)東京都専修学校各種学校協会 令和3年1月22日
4. 自己否定感と向き合う 東京都 令和3年2月11日
※不登校・ひきこもりを経験して生きていく

(3) 研修等の計画(令和3年度)

①専攻分野における実務に関する研修等

※内容・時期について検討中

②指導力の修得・向上のための研修等

※内容・時期について検討中

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

1. 学校関係者評価は、本校教育活動の質向上及び学校運営の改善・強化を目的として実施する。
2. 学校の現状と課題を把握し、関係業界との共通理解や信頼関係を深め、社会に貢献する職業教育機関として拡充を図る。
3. 関係業界・地域と密接な連携を図ることにより、学生の学習意欲や資質・能力向上に繋げる。
4. 外部意見等を積極的に活用し公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価とする。

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1. 教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	基準2. 学校運営
(3) 教育活動	基準3. 教育活動
(4) 学修成果	基準4. 教育成果
(5) 学生支援	基準5. 学生支援
(6) 教育環境	基準6. 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7. 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8. 財務
(9) 法令等の遵守	基準9. 法令などの遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10. 社会貢献
(11) 国際交流	該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

コロナ禍での学生・生徒への対応について、早期よりオンライン授業を計画、教員がアプリケーションを習得したことで、スムーズに移行、学習機会の逸失を最小限に留めた。現在は感染防止対策を万全にして対面授業としている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
八尾 勝	(一社)東京都専修学校各種学校協会常任理事・東京YMCA医療福祉専門学校相談役	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	専修学校団体
山口 智巳	八王子ファッション協議会前会長・ヤマタカ捺染工場代表	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	関係業界
水野 好彦	水野商店 営業部長	2021年4月1日～2022年3月31日(1年)	卒業生・関係業界

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <http://furuya.ac.jp/fashion/information/evaluation/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

1. 公的な教育機関として社会への説明責任を果たすとともに、教育の質向上を目的とした情報提供を行うものとする。
2. 情報提供を行うことにより、関係業界などとの連携・協力による教育活動の改善や学校に対しての信頼を社会全体から得る。
3. 提供する情報は常に正確であり、最新のものであることに努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	該当なし
(11)その他	教育機関該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://furuya.ac.jp/fashion/>

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッション総合学科) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッション造形論・実習Ⅰ	衣服製作の基礎テクニックを、デザイン・パターン・裁断・縫製の実習を通して学びます。	1通	420			○	○		○		○	
○			商品企画Ⅰ	リサーチから企画立案、製作、販売までの実践を通して、商品企画のプロセスを学びます。	1通	210		△	○		○	△	○	△	
○			ファッションビジネスⅠ	繊維ファッション産業の構造を理解し、アパレルメーカー等でのビジネスの知識と理論を学びます。	1通	105		○	△		○		○		
○			ファッションデザインⅠ	デザインの基礎描画テクニックを、ファッションデザイン画・ハンガーイラストを通して学びます。	1通	105				○	○		○		
○			トータルビューティー	トータルファッションとしてのメイクアップやヘアデザインの理論とテクニックを習得します。	1通	105		△	○		○		△		
○			スタイリング	ファッションスタイリング及びコーディネート基礎知識及びテクニックを学びます。	1通	105		△	○		○		△		
○			課外授業	ファッション関連施設及び関連企業等において、見学又は研修を通し実践的スキルを養います。	1通	35		△	○		△	○	○		
○			商品企画Ⅱ	リサーチから企画立案、製作、販売までの実践を通して、商品企画のプロセスを計数管理と共に学びます。	2通	210		△	○		○	△	○	△	
○			ファッションビジネスⅡ	ファッションを産業として捉え、ビジネスとして成立させる根拠創出の方法をマーケティングを通し学びます。	2通	105		○	△		○		○		
○			ファッションデザインⅡ	デザインの感性及び衣服のフォルムをより正確に伝える為の高度なテクニックをCGを用いて学びます。	2通	105				○	○		○		
	○		ファッション造形論・実習Ⅱ	より複雑な素材及びデザインの衣服製作を、デザイン・パターン・裁断・縫製の実習を通して学びます。	2通	210				○	○		○	○	
	○		商品企画Ⅲ	ビジネスとして成立させる為のブランド構築を、オリジナルブランドのブランディングを通して学びます。	2通	210				○	○	△	○	△	
	○		パターンメイキングⅠ	あらゆるデザインに対応する衣服設計のテクニックを、ドラフティング・立体裁断・CADを用いて習得します。	2通	210		△	○		○		○		
	○		マーチャンダイジング	アパレル全体の流通を学び、ファッション商品が売れる為の仕組み作りを、講義を中心に学びます。	2通	210		○	△		○		○	○	
	○		ビューティー実習Ⅰ	ファッショントレンドを学び、関連したメイクアップやヘアデザインのテクニックを習得します。	2通	210				○	○		△		
	○		ビューティー実習Ⅱ	より高度なメイクアップやヘアデザインを、ファッションと関連付けて提案するスキルを身に付けます。	2通	210				○	○		△		
	○		ファッションリテール	店舗運営におけるビジュアルマーチャンダイジングを、ディスプレイ技術を中心に学びます。	2通	210		△	○		○		○		
○			課外授業	ファッション関連施設及び関連企業等において、見学又は研修を通して、より高度な実践的スキルを養います。	2通	35		△	○		△	○	○		
合計				18 科目	3010 単位時間 (単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各教科3分の2以上出席があり、AからEの5段階評価でD以上の者	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	35週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。